



発行 2020年8月1日

8 月 第222号

奈良・人と自然の会



＜蓮の不思議＞

(7月18日公開イベント「夏だ休みだ里山で遊ぼう」にて)



Contents



ホームページでは、**カラー**で見ることができます

URL <http://www.naranature.com>

壮春力歩	1	私のふるさと	7
Monthly Repo ならやま	2	字遊字感	8
里山の今、花だより	3・4	ならやまプロジェクト	9
豆知識	5	行事案内・奈良学クイズ	10
夏だ休みだイベント・レポ	6	幹事会報告・編集後記	11



赤色や青紫色の食材

会長 鈴木 末一

近年、人生100年時代到来だといわれるようになってきた。食生活が改善され栄養のバランスにも常日ごろ気を付けるようになってきたからでもあろうか。

現役の時には、「目は良い、耳は良い、口は悪い」と周囲からよく言われた。ほとんど眼鏡をかけることもなく過ごしてきたが、寄る年波には如何ともしがたく、視力検査を受けると衰えを認識せざるを得ない。

ワープロに始まり、パソコンに本格的に向かうようになって間もなく40年になろうとしている。目の疲れは否めない。目薬に頼っても一時凌ぎのように思えてならない。

TV通販のCMの主流としてセサミン類などの健康食品が占めている。購買欲をあおるかのよう、番組終了30分以内の特別価格発表の文字が画面に踊る。しかし、健康を保つための基本の基本は、どのような食生活を送っているのかであろう。最近、目の疲れやかすみなど、多くの人たちが抱えている悩みを、食品や食品成分で改善しようとする研究が進んでいることを知った。

目の水晶体はピントを合わせるため、厚みを変える。水晶体を周囲から取り囲む毛様体筋が、厚さを調節するというご存じの通り。

PCやスマホなどを凝視し続けると、毛様体筋が収縮したままになり、筋肉疲労に似た状態になる。そして、年齢とともに水晶体が硬くなってくると、ピント調節力が低下し近くが見えにくくなる。このままで無理をして近くを見続けると、目の不快感以外に頭痛や肩凝りなどを伴う眼精疲労になりかねないという。凝視し続けまばたきが減少すると、涙液分泌機能が低下しドライアイも起こり、眼精疲労や目の不快感

は一層悪化してくること。

眼精疲労を緩和する機能を持つ成分として抗酸化、抗炎症作用の強い色素成分が着目されている。目の疲れに悩む人を対象にした臨床試験で、サケやイクラに豊富なオレンジ色のアスタキサンチンや、ブルーベリーやカシスに豊富な青紫のアントシアニンに、目の疲れの改善効果があることが確認されたという。植物は紫外線や外敵から身を守るために、抗酸化物質を作り出す。サケなど浅い場所に産卵する生物も、藻由来の抗酸化物質を蓄えたプランクトンをエサとして取り込むので、こうした物質を持っているのだという。人間も日々、紫外線や活性酸素からダメージを受けているけれど、食品から体内に抗酸化成分を取り込むことで、酸化のダメージから身を守ってきた。

目を守る食事は色がキーポイントであり、赤や青紫色の食材を多めに摂取する必要がある。ビタミン類や一部のミネラルを除く抗酸化物質は、カロテノイドとポリフェノールに大きく分かれる。カロテノイドだけでなく、ポリフェノールの仲間のアントシアニンでも、目に対する効果が確認されている。

アントシアニンは古くからベリー類に多く含まれる。欧州ではベリー類は目に良いといわれ、カシス果実から抽出されたアントシアニン摂取によって、緑内障による視野障害の進行が抑制された、という報告もあるようだ。野生種のブルーベリーで、実の中までアントシアニンが詰まっているビルベリーの摂取試験では、調節力の低下が抑えられ、回復も早かったという。調節力が落ちるとモノが見えにくくなるが、それを防いだというのだ。

時代の流れとともに、食文化も様変わりしてきた。心身ともに健やかであるためには、適度な運動とバランスの取れた食生活が肝要である。

Monthly Repo. ならやま

徳地 恵男

6月25日(木) 活動 曇り 89+2名

活動もやっと軌道に乗り出し、怪しい天候だが、参加者も多い。朝礼では、前年度で退任された役員へのお礼や、20周年記念ロゴマーク入選者の表彰が行われる。長い間ご苦労さまでした。



新入会員2名、近大生2名。午後ならやま委員会。里山Gは植樹予定地の草刈りや枯死木伐倒、エコGはナス等の支柱建てや追肥やり、そして景観Gは実りの森の草刈りを行う。また、ビオ班は水生生物調査とミツワカシワの棚作り、花班はビオラの撤去と日日草の植え付け、パトGは階段のロープ張りや2コースパトロールに時間を費やす。その他果樹Gは梅の収穫の他、実りの森の草刈りを実施する。

7月2日(木) 活動 曇り 83名

7月に入る。今日から夏時間に入り作業の開始は午前8時となった。刈っても刈ってもぐんぐん伸びていく夏草。早速に時間を惜しんで草を刈って運び出す姿が見える。9時から始まった打ち合わせでは公開イベント「夏だ休みだ里山で遊ぼう①」への協力依頼がある。午後からは図録編集委員会を開催。里山Gは協働作業でシイタケの櫓木の天地返し。エコGはニンジンとエダマメの収穫、除草と追肥。景観Gは彩の森の草刈りをする。新たに自走式傾斜地草刈り機が入った。畑のあぜや傾斜地の草刈りもできる優れものである。ビオ班は池周辺の草刈り、花班はフウセンカズラ苗の移植をする。パトGは新人研修に観察路を案内して希少植物の観察

をする。果樹Gは実りの森の除草。アダプト事業のゴミ分別作業をする。

7月16日(木) 活動 曇り後晴れ 82+2名

前週は長雨が続き休みとなり、2週間ぶりの活動となる。蓮池の蓮の花は今が一番美しい。朝礼では会長からコロナ禍第2波が近づき注意を喚起。後すぐに18日のイベントについて参加スタッフ打ち合わせを行う。その後の活動もイベントに向けた準備を行う。里山Gはあそびの森の準備と下草刈り、景観Gは里山散策路の草刈りをする。

エコGは水田一面広がったコナギの除草、アライグマ対策のネットを張る。



ビオ班は湿地の整備、近大生によるタナゴ、タガイ調査、花班は花壇の除草をする。パトGは安全ロープの張り替え、メンテ班は水路の改修工事を進める。果樹Gはウメの剪定をする。午前の活動で80人余りが、分担と協力をしながら多くの仕事を見事に進めている。

7月18日(土) イベント 曇り 27+21名

少し雨模様で心配されたが、「夏だ！休みだ！里山で遊ぼう①」は予定通り実施することができた。スタッフ27名、参加者21名。コロナ渦中で募集が制限されたが、無事予定通り実施することができた。2班に分かれ前半は里地で昆虫観察と植物観察が行われた。網と虫かごをもって小さなバッタやチョウを追いかける。後半は整備された散策路を登り、遊びの森に着くころには青空が見える。木とロープだけの手作りブランコや丸太の橋わたり、木登りに元気な子供たちが挑戦する。自然の中で遊ぶ楽しさを十分味わってくれただろう。閉会式でカブトムシがプレゼントされ無事終了した。

里山グループ



里山の今

◆繁茂する笹との戦い

中井 弘

ササは「イネ科タケ亜科」に属する植物です。竹との違いは、枯れるまで稈（かん：茎）鞘が残っています。草本なのか木本なのか植物学の世界では厳密に定義されていないようです。

ササは地下茎を伸ばしてどんどん稈を増やし群生します。地上部を刈り取っても枯死せず、そこからまた新たに稈を発生させます。森林内で広範囲に優占する代表的な林床植物で、繁茂する能力が旺盛なため地面まで光が到達せず、実生や稚樹の成育を阻害しています。

皆伐跡地に植樹した苗木を成長させるためには、ササの刈払いを年2回、数年続ける必要があるとされます。その時期は芽を伸ばし切った6月～7月と養分が根に回った9月が適期とのことで衰退させるには数年を要するようです。

ならやまの「部分皆伐地区」では、部分皆伐を実施したとき一時的に裸地となり、できたギャップにはササが繁茂する結果となりました。しかし数年間植樹してきたコナラやクヌギが現在では大きく成長し、ササの背丈を抜いてしっかりと育っています。

一方枯損木を伐倒した広場「学びの森」では背丈を超えるササによって地表がびっしり覆われています。実験的にコナラを植樹しましたが、今ではササに覆われて消滅してしまっています。この2か所に顕著な相違が現れたのはなぜなのでしょう。これから時間と労力をかけてササを刈り取り、植樹を計画しています。

森林総合研究所の「森林科学」には、「これまではササの下刈りはほぼ全てにおいて樹木の「伐採後」に行われてきた。しかしこの方法では旺盛な繁茂を抑制できなかった。そこで刈払いを「伐採前」に行う実験を3年間実施した結果、3年目には地下部を含めて完全に枯死した」と報告しています。今後の参考になりそうです。

エコファームグループ

◆ファームの昨日・今日

池山 怜子

約4年数カ月前に入会以来「木曜日はならやま」が私の生活の一部になっている。今年4月新型コロナ対策として緊急事態宣言が出され、府県をまたいでの移動自粛が要請され、当会でも参加自粛との連絡が入った。県境を越えて数百米の所なのにと一瞬ばやきたくなかったが、はじめは必要なだと納得した。しかしその時のガッカリ感と共に、その直前に男性陣が種をまいて温室に入れ水やりをしていた夏野菜や葉物類が少しずつ芽を出しかけていたので、それらがどうなるのかと、とても気がかりになった。

ところが6月4日「自粛解除」になり、久しぶりのファームでは、サツマイモが畝一杯に広がり、春菊や小松菜はトウが立たんばかりに伸び、リーフレタスは立派に繁り、思わず歓声を上げてしまった。大きくなったねエーとも。この間の奈良メンバーの働きに感謝したい。以降のファームの作業は、キュウリ、ナス、トウガラシなどの支柱立てや施肥、それに生茂った雑草の除去。暑い陽射しの下で膝をつき、腰を据えての作業は重労働ではあるが、積み上がった草の山の大きさは達成感の極みである。ただ今の収穫の楽しみは、出来栄上々の黒豆の枝豆とモロヘイヤである。クレオパトラも好んだというモロヘイヤは、古代エジプトでは「王様の病気の特効薬」とされていたらしい。有害な活性酸素から体を守るβカロチンは野菜の中でもトップクラスでビタミンB、C、Eも豊富で鉄分、カルシウムもバランス良く含まれ、特徴の粘りは水溶性食物繊維であるムチンであるという。血糖値の上昇や糖尿病、動脈硬化、胃潰瘍予防に効くという。葉をさっとゆで、ゴマ和えやスープにするとおいしい。効果を期待して食卓をにぎやかにしてみてもいい。注意しなければならないのは開花後にできる種子は有害とのこと。

景観グループ



果樹グループ

◆事故のない活動

徳地 恵男

私は昨年12月に全治3か月のけがを負ってしまいました。竹林の中を抜けて戻る途中、一瞬足元が浮いたように後ろにころげ落ちてしまい、切り株に背中を強く打ちました。今は完治し復帰することができています。みなさんにお世話と心配をかけました。本当にありがとうございました。

何度も事故の無いようにと会の中で指示されたり、みんなで確認をしたりしてきたのに残念です。私の反省としてこれから気を付けていきたいことをいくつか挙げてみました。一つは危険を十分認識することです。私は草刈りを主に環境整備をしています。草が胸近くまで伸びていることがあります。草が胸近くまで伸びていることがあります。足元はどうなのかわかりにくく、大きな石や切り株、倒れた木も隠れています。数年間の経験で土地の様子や困難な場所はだいたい把握していますが、事前の安全の確認や危ない所を片づけるなど作業場をより安全な場所にする必要があります。二つ目は機械の取り扱いです。草刈り機、自動草刈り機モアー、チップパー粉碎機(枝を砕く機械)などを使用しています。作業には欠かせない道具ですが、ひとつ間違えば大けがになります。改めて正しい扱い方と作業中の周りへの注意や配慮が必要です。危険を意識することです。三つ目は足元の装備と体力です。事故の当日は長靴を履いていましたが、今は踏ん張りの効くトレッキングシューズに変えました。作業を続ける体力と踏ん張ることのできる筋力もいります。転倒しない体にするため、ラジオ体操とストレッチや筋トレを続けています。四つ目は無理をせず、余裕のあることです。私たちは周りからは高齢者とみられる年齢です。お互いに声をかけ、注意し合いながら余裕をもった作業が必要です。信頼し支え合える仲間がいてこそ安全な活動ができます。

◆今から始める果樹園作り

有元 康人

今年度から発足した果樹園グループ。

フライングですが、前年度から活動を始め、蕎麦の栽培を行っていた実りの森を果樹園にするため、ブルーベリー、カキ、スモモ、アンズ、ザクロ、クリ、クルミなどの苗木を植えてきました。

現在、管理地の各所にあるウメや柑橘類、イチジク等の管理も含め、果樹グループで栽培を行い、会員の皆さまに旬の果物を提供できるように活動を行っていきます。

グループとしていちばん最初に取り組むべきテーマは、一人一人のスキルアップです。

県の栽培センターや、果樹農家等への訪問で一年間の管理方法や施肥、剪定などの専門知識の習得が求められます。

コロナの影響でまだ始めていませんが、できるだけ早く進めていきたいと思っています。

果樹グループのメンバーは、会の顧問、参与、営繕仕事は何でもゴザレの強者、そして会の会計責任者、これから咲き誇る果物の花のような女性陣、いつまでも夢を持ち続けている明るく最強のメンバーです。

植樹した直径1cm程度の幹が5cm、10cmと育ち、果樹の花が咲き誇る実りの森に、会の皆さんの足が自然に向いていくような、お茶でもしたくなるような、環境作りをコンセプトに取り組んで行きます。

始めてみると、現在の人員では果樹園の面積も広く取り組むべき仕事量が多いことに気が付きました。

これから始める果樹園作りを、一緒に取り組んでいこうと思ってもらえる仲間を募集しますので、よろしくお願いします。



コーヒー栽培

木村 裕

コーヒーはよく飲みますね。コーヒー豆を買ってきてミルで挽いて本格的なコーヒーを楽しむ方も多いことでしょう。では、このコーヒー豆は何処からくるのでしょうか？ その栽培は？

コーヒー通の方は、キリマンジャロとかブルーマウンテンとかの味にも詳しいことでしょう。コーヒーの品種は大きく分けると、アラビカ種とカネフォラ種（ロブスター種）に分かれ、その6割がアラビカ種で、皆さんが飲んでいるものです。またキリマンジャロとかブルーマウンテンは品種ではなくて産地のブランド名です。

アラビカ種は酸味があっておいしいですが、病気に弱くて栽培の難しい品種です。一方、カネフォ



ラ種は苦みが強く、病気にも強い品種です。このため、後者はインスタントコーヒーや缶飲料の原料としてよく使われています。

おもな産地は赤道をはさんだ中南米、インドネシア、アフリカなどの熱帯地方の山地です。高級品と普通品との差の一番大きな違いは栽培地の高度です。高級品は1000～1500mの高地で、普通品は300～800mで栽培されたものです。世界で最も高級品と言われているゲイシャ



コーヒーの栽培されているパナマのボケテ地方を紹介します。

コスタリカとの国境の近くに聳えるバルー^{そび}火山の中腹に広がる地域が良好な産地となっています。土壌が火山灰土で、乾季と雨季があり、適度の雨と霧がよい影響を与えています。

木の高さはそれほど大きくはありません。紀州のミカン園をコーヒー園と置き換えたようなもので、斜面にずらりと植栽され、そこでは多くの土着の住民が雇われて働いています。



コーヒーの果実はアオキの実を想像してください。同じような形で中に大きな種がはいっています。これを取り出して乾燥したものがコーヒー豆です。



夏だ！休みだ！里山で遊ぼう！① レポ

青木 幸子

7月18日(土) 9:00~12:00

毎年夏休みになるとたくさんのご家族に参加していただき、親子&スタッフで賑やかに実施していたイベントだが、今年は最初から様子が違った。新型コロナウイルス感染症がいまだ収束の見通しがつかないどころか、東京を中心に全国で日増しに感染者数増加のニュース、第二波か！という中での実施となり、万全の対策が求められた。

- *まず第一にいわゆる「3密」を避ける
- *食べ物を扱うプログラムは行わない
- *スタッフおよび参加者の検温の実施
- *マスクまたはフェイスシールド等の着用
- *手洗い場には手指消毒用薬を設置
- *複数の人間が触れる可能性がある箇所は消毒
- *共用で使用する道具・用具の消毒
- ・・・等々。

また、集団での飲食を避け、長時間のイベントとしないということで、例年は飯盒炊爨はんごうすいさんを挟んでの一日イベントであったが、今回は参加人数も大幅に減らし、午前中のみで実施した。

7月2日にスタッフ募集、すぐに27名が応募してくださった、ありがたい。参加者募集については、奈良県のイベントブックの発行が中止となったため、当会のホームページでのみの募集となり、申し込みがあるかどうかの心配もあったが、5家族20名の申し込みがあり、コロナ禍の中での開催としては適当な参加人数となった。

次に心配なのはお天気だ。梅雨前線の停滞で九州を始め各地で記録的な豪雨になり、甚大な被害が出ている。奈良も7月初めからずっと梅雨空が続き雨ばかり。イベント前日も雨！さて当日は、降水確率 30/10 やれやれよかった。

朝8時スタッフ集合、手際よくテントを立て、

準備万端整えて参加者を待つ。5家族が次々受付に来られる。検温しマスク着用を確認。小さな子どもさんもマスクをしている。全員平熱で元気そのもの。よかった。



開始時点では少し時雨れて心配したが、その後は徐々に天気も回復し、なんと何日ぶりかで太陽も顔を出し、絶好のイベント日和になった。開会の挨拶、諸注意などを受けて、さあイベント開始。

第一部、里地での活動(昆虫観察&植物観察)。虫かごと捕虫網を持って蝶やトンボ、バッタを追いかける。親も子もスタッフも追いかける。こんな時間が一番楽しい。ビオトープ周辺での植物観察では優雅に開いた蓮と睡蓮の花も楽しみ、葉に転がる水玉に興じながら、昆虫の嗜好植物の説明に耳を傾ける。



第二部、里山での活動(自然観察&里山遊び)。木登りやロープ渡り、ブランコなど元気いっぱい、やっぱり子どもは体を使って遊ぶのが一番。またいろいろ



んな葉っぱの説明を聞いたり、ウラジロ飛ばしで遊んだり親子共々いい勉強になったのでは？

午前中だけのイベントだったが、皆さん十分楽しんでいただけたのではないかと思います。最後にカブトムシと鹿の折り紙のお土産つき。

スタッフの皆さまありがとうございました。





私のふるさと

吉川 利文

〽花摘む野辺に 日は落ちて
みんなて肩を 組みながら
唄を歌った 帰り道…

ご存じ、霧島昇の「誰か故郷を想わざる」である。私のカラオケでの持ち歌のひとつである。この歌には限らない郷愁を覚えるのに、そんな私に実は故郷がない。私の“浮き草人生”が原因である。

私は昭和 17 年、大阪の街なかに生まれた。その前年太平洋戦争が始まり、戦況はどんどん悪化していた。学校は学童疎開が始まり、住宅は家屋疎開を迫られた。父の弟が現北朝鮮の平壤（ピョンヤン）におり、「来ないか」との誘いもあって、死ぬなら家族一緒に、と同 19 年、両親は子供 4 人を連れて平壤へ移住した。いま 75 歳の弟は平壤で生まれた。同 20 年終戦。平壤にソ連兵がなだれ込み、住宅の接收、略奪、婦女暴行など乱暴ろうぜきのし放題。朝鮮人の眼も日本人には冷たい。父は現地応召で不在。身の危険を感じた母は高校生の長女を頭にまだ 1 歳にもならない弟まで 5 人の子供を連れて平壤を脱出。ほとんど徒歩で 38 度線を越えソウルまでたどり着いた。

引き揚げ船で博多へ、父が復員していた広島、父の勤務先の大阪、社宅の神戸へと転々。おろん私は母とずっと一緒にいた。

私の浮き草生活はさらに続く。小学校 4 年生の時、父の定年退職に伴い神戸から大阪へ。大学は京都、就職したのは名古屋の会社、富山県高岡市へ転勤、会社を変わり和歌山→京都→大阪→岸和田→大阪→西宮→京都→大阪→奈良→大阪→東京→大阪と目まぐるしく転勤。結婚してから実にも 11 回転居している。おかげで、関西の五私鉄、JR 沿線にはすべて住んだ。

故郷などできるわけがない。ただ、不思議な体験がある。一昨年初、ある市民運動の活動と

して韓国ソウル市で 1 週間、普通の市民のお宅にホームステイしたことがある。いろんな企画や見学、小旅行で親切にもてなしてもらい楽しい日々を送った。見るもの、体験するもの、ほとんど初めてのことだった。だが、私には「ほう、珍しいな」という感想よりも、なぜか懐かしさが強まるばかりだった。

平壤から引き上げる時、母は 3 歳の私を背負い、両手に長男と次男の手を引き、丸刈りと詰め襟で男装した長女に乳飲み子の弟を背負わせ、地理もわからない他国の山道を、昼間はソ連兵や朝鮮人の略奪や暴行を避けるため、夜間、離散しないよう互いの名前を大声で呼び合いながらさまよったという。母は戦後まとめた手記に「悪夢」というタイトルを付けたほどの苦難だった。だが、私はよく覚えていない。

それなのに、ソウルにホームステイしているうちに、街のたたずまい、行きかう人々の表情や雰囲気などが、なんだかいつかどこかで見たことがあるような「既視感（デジャ・ビュ）」に襲われたのである。潜在意識に眠っていた幼児期の体験が呼び起こされ、「疑似故郷」として感じられたのかもしれない。それほど、故郷のない私の半生はみじめで寂しかった。

でも、最近、発想の転換を始めた。それは、浄土宗の宗祖法然上人の臨終のころの逸話がヒントである。高弟たちが、病床の上人の最悪の事態に備えて、ご本人に遺跡（死後に祀る寺院、墓所など）をどこにすべきかを尋ねたことがある。上人は「私の遺跡はひとつではない。念仏の音がするところはみな私の遺跡だ」と答えた、という。上人は岡山県の生まれだが、修業や布教で各地を転々としている。上人と私とでは断然格が違うが、転居の境遇は似ていなくもない。そこで、上人ばりに「私の故郷は、私が住んだところすべてだ」と答えたいものだ…。

それにしても、ほんとうのふるさとがほしい。
〽ああ 誰（たれ）か故郷を 想わざる〽——
のである。



コロナ一色

岡田 安弘

思わず笑いをこらえたことがある。「固有名詞が出なくなっていて困ったもんです」と、80歳すぎの男性。「君はましたよ。僕なんか普通名詞が出てこないんだ」と、その先輩。ふた昔以上も前のことを思い出したのは、二人の会話が身につまされるようになったからに他ならない。

メールを送信しようとパソコンに向かう。相手の名前が突然、頭から消える。顔は浮かんでいる。名前が思い出せない。花の名前、食品の名称など普通名詞が出てこないことも再三だ。

日本男子の平均寿命は81.25歳。平均に1.25歳ほど届かないというのに、記憶の衰えは、もはや人ごとではなくなった。

動作も鈍くなっている。身辺が散らかったまま。片付ける気にならない。「あした出来ることは、今日するな」と唱えていた友人をバカにしていたのは誰だろう。

国会審議の不満をメール賀状に書き散らす。森友・加計、桜の会、公文書改ざんとネタは尽きない。「歳をとると怒りやすくなるとか、ご神妙に」。友人から返信メールが届く。

世の中、新型コロナウイルス一色に染まる。ほっとしている陣営もあろう。しかし、こんな事があったのをご存じですか。コロナ感染防止対策会議で、専門医は外出自粛目標を「8割減」と提案。陣営は「少なくとも7割減」と勝手に付け加えた。医師は「完璧に8割減らさないとコロナには勝てない」と、陣営を批判。対策会議の組織変更の折、メンバーから外された。

気になりながら、手付かずのことは誰しもある。外出自粛で、積読(つんどく)状態の本を手にする。先ず末尾の「奥付」を見るのを流儀にしている。いつ買ったか思い出すためだ。ものぐさを反省、何年ぶりに読み始めた。

ゆっくり考える時間をくれたのもコロナだ。核兵器を製造して、誰が利益を得ているのか? かねての疑問は、ネットのおかげで解けた。

ノーベル平和賞を受賞したNGOの「ICAN」とオランダの平和団体が共同で、「核兵器にカネを貸すな」というプロジェクトを展開。米、英、仏、印、オランダの計20社を核兵器製造企業と特定。この20社に投資や融資をしているか、世界の金融機関を対象に調査したそうだ。

2018年の報告書(ホームページ)によると、2014年から3年間に24か国、329の金融機関や保険会社などが、総額5250億ドル(約55兆円)を投融資していた。うち日本は7金融機関の総額1.9兆円だった。

投融資の禁止を宣言したのは、世界で63金融機関。日本では大手のA銀行が唯一。「社会的責任投資に向けた取り組み」と題する文書で、「核兵器、化学兵器、生物兵器などの製造企業へは融資しない」と宣言した。ここでは仮名にしたが、プロジェクトの報告書は銀行名を明記し、世界に発信している。

国内の他の金融機関は、問い合わせに対し「回避する方針は策定している」などと回答するも、禁止の公表には至っていない。

人類への警鐘

「暴れ川」と呼ばれる熊本・球磨川の氾濫で、川沿いの養護老人ホームが水没した。職員と付近の住民が、車いすや寝たきりの高齢者を2階へ避難させていた。突然、濁流が押し寄せ14名が吞まれた。傷ましい。

こんな危険な地形に、老人ホームの建設を認めたのは誰? と聞きたい。横着にも程がある。

▽

新型コロナウイルスの蔓延にも同じ事が言えよう。人間は様々な技術を手に入れた。進化と同時に地球の営みを歪めてきたのは否定できない。環境破壊に自然は怒っている。生物の一員である人類への警鐘と思えてならない。

ならやまプロジェクト

明るく・楽しく・無理をせず

活動日： 毎週木曜日 8:00~12:00 (夏時間)

(前日水曜日、19時前のNHKTV天気予報にて午前中の降雨確率

60%以上の場合は翌金曜日、木曜日の同予報も同様であれば金曜日も中止)

場 所：奈良市佐紀町、奈良阪町、法蓮町、法華寺町にまたがる約16haの里山林地

アクセス：JR平城山駅下車：東口から南へ徒歩10分

または、奈良交通バス亭「佐保台西口」又は「平城大橋」から徒歩7分

携行品など：弁当、飲み物、軍手(作業用具は現地で用意)コップなど

お問い合わせ：富井



8月の活動について

8月 6日：協働活動日・部分皆伐地区下草刈り・アダプトプログラム

8月 13日：活動休み

8月 22日：イベント：夏だ！休みだ！里山で遊ぼう②

8月 27日：備品点検日

8月 各グループ活動予定

グループ	活 動 予 定
里 山	里山林内整備／下草刈り／マキ割り／(水路改修)／イベント準備作業 ユート:松山平 草、笹、シダ刈り、松整備地区 草、笹刈り
エコファーム	サツマイモの除草、つるの返し／チップ入れ／茄子、唐辛子、ピーマン除草追肥 葉ボタン、ブロッコリー種まき／桜島大根、YRくらま大根、畝作り／・各種冬 野菜の畝作り／桜島大根種まき／チップ入れ
景 観	整備：BC周辺／佐保自然の森草刈り整備／イベント準備 蜜蜂巣箱周辺草刈り ビオ：水生生物調査／イベント準備／池、水路整備 花：葉牡丹種蒔き、草取り、水やり／夏花寒冷紗掛け／アジサイ剪定 アガパンサス花摘み取り／山野草園草取り
パトロール	ミーティング、観察路整備・丸太階段補修、安全ロープ、笹草刈り 水路改修工事／イベント準備／見晴らし広場準備 コース：4-1-2
果 樹	実りの森の除草／ブルーベリー・イチジクの収穫／作業器具収納小屋の建 設／ブルーベリーへの給水／イチジク周りの除草／実りの森の除草

行事案内



公開イベント

「夏だ！休みだ！里山で遊ぼう！②」

7月に実施しましたイベントですが第2回を開催します。今回も新型コロナウイルス感染予防のため、時間と参加人数を制限して実施します。参加するときの注意事項など詳しくは当会HPをご参照ください。

1. 日 時：令和2年8月22日(土)

9:00~12:00(受付開始 8:30)

前日19時前のNHK天気予報で、当日午前の降水確率が50%以上の場合は8月29日(土)に延期。

2. 場 所：ならやまベースキャンプ

3. 内 容：ビオ・トープ水辺の生物観察、
植物観察、里山遊び他

4. 参加費用：無料

5. 募集人員：小学生のご家族合わせて30名

6. 申込方法：8月1日からメールにて受付
メール宛先：event@naranature.com

9月ならやま活動&行事予告

＊ ならやま活動(木)

3日 協働活動日・アダプトプログラム

＊ 自然教室

14日 初秋の矢田丘陵 大和民族園周辺
自然観察会

＊ 歴史文化クラブ

15日(火) 蘇我氏興亡の歴史裏表

奈良学クイズ

【問】次の2枚の写真に関する神社の名称をお答えください。

- ① 珍しい母と子獅子の石像のある神社
- ② 本殿の柱に三つ葵の御紋のある神社

①



②

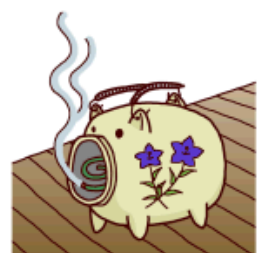


【応募方法】メールのみにて

nara-suzuki@naranature.com

【締め切り日】令和2年8月2日(必着)

【景品】??? 工芸作品 ???



2020年7月度幹事会報告

日時：令和2年6月30日(火)10:00～12:00

場所：奈良市中部公民館 4F 第2講座室

参加者18名、欠席者3名

議事：

I. 会長挨拶

・6月に予定していた、里山研修の一環として講演会を秋に企画したい。

II. 会計、総務部より

1. 会員動向：4名増 174名に。
2. 会計報告：収入は寄付金が減少、支出はコロナ禍の影響で昨年同時期の半分程度。
3. イベント担当表説明：担当者は名簿順に。
10月11日に予定していた「朝日親と子の自然環境教室」は中止。
4. その他：救急救命講習会、今年度は中止。

III. 活動・行事関係に関わる課題・懸案・確認事項

1. 3か月スケジュール、当月のスケジュール
・7月2日から各グループで順に新人研修。
・資材入手次第、水路改修整備を開始する。
2. ならやまプロジェクト関係
・斜面も刈れる自走式草刈り機を購入。
3. 「夏だ休みだ里山で遊ぼう」について
・コロナ対策を十分に講じたうえで公開イベントとして実施

IV. 企画、助成金事業案件

1. 図録編集委員会：7月2日委員会開催予定、原稿は約半分程出来上がっている。
2. 各種助成金・交付金事業について
コロナ禍により申請や実施期限が延期されている案件が多いが、特に問題なく対応できている。

V 喫緊・提案事項

- ・キャッチフレーズの見直し、特定企業名の会報誌掲載ルールについて次回までに検討。
- ・安全管理並びに備品管理を徹底してほしい。

次回：7月28日(火)14:00～中部公民館

以上



<「会話」と「対話」>

「会話」とは、「価値観や生活習慣が近い仲間同士の単なるおしゃべり」。「対話」とは、「親しい者同士でも価値観が異なる時に起こる、そのすり合せのプロセス」。国家元首のように背負うものが大きいと「対話」するのは難しいのわかる。

日頃は楽しく話しているのに、何か価値観の相違があったときに「意味わからん!」と言って話を打ち切る会話。「対話」を通じて違いを乗り越え、共に未来を創ろうと思う人からすると、「意味わからん!」と言ってコミュニケーションをやめてしまうことこそ「意味わからん!」ことなのである。

「なぜ意味がわからないのか?」「意味が理解でき少しでも共感できたとき、自分にはどんな思考の変化があるだろうか?」お互いの違いを見つめ合い、すり合わせていく。価値観を押し付けるのではなく相手の話をきちんと受け入れ、「対話」を通じて適応力と創造力を発揮し共感できれば組織の力が大きくなる。そしてまた「会話」がはずむ。

ボランティア団体のような多様な人たちの集まりでは、価値観も様々で、強い目的意識で一致することは難しい。でも、たまには共有するものを確認しないと、ちょっとしたことで崩壊してしまうかもしれない。年寄りには頑固で他人の言うことを聞かない、などと諦めないで、意見や価値観の異なる人と「対話」することも心がけたい。そして仲間との「会話」を楽しみたい。

発行：奈良・人と自然の会

URL : <http://www.naranature.com>

編集代表 Mail: editor@naranature.com

<表紙写真>蓮の不思議

蓮の華に見とれ、葉に転がる水玉に興じつつ、蓮の不思議についての説明に耳を傾けるイベント参加者たち(7/18)